

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
・ 学部	建築学部
・ 学科(コース等)	建築学科SAコース
・ 学年(渡航開始時)	3年後期
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報	
・ 渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	アメリカ、イリノイ州
・ 都市名	アーバナ・シャンペーン
・ 留学先大学名	University of Illinois at Urbana-Champaign
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年（1セメスター程度） <input type="checkbox"/> 半年～1年（2セメスター程度）
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2023年8月 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2023年12月
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェック をお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input checked="" type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	アメリカの大学で学部生向けに建築学部のプログラムを開講していたのがUIUCだった、というのが最大の理由です。さらにUIUCの建築学部はアメリカの州立の建築高等教育機関では最古で非常に歴史があり高い水準の教育環境を有しています。学業以外に目を向けても二つの街にまたがるキャンパスとキャンパスタウンには5万人を超える学生が生活しており、世界各国から広く学生を誘致するUIUCの国際性の高さは非常に魅力的でした。アジア系も比較的多くいるため近いバックグラウンドを持つ人にも会うことができます。
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 休学をした <input type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取 り終えており、かつ指導教員の許可 も得られ、就活前に帰国することが できたため、等)	

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

授業は1セメスターにつき12～18creditsをとらなくてはなりません。アドバイザーと相談できますが目安は14～16がいいでしょう。授業には全て番号があり100番台から500番台まであります。(e.g. ARCH 101) 100番台は基礎的な内容で300～400番台が専門的になっていく、という認識でいいと思います。400～500になってくると専門性がとてもたかく院生もとるような難しい授業になります。また、日本と大きく違うのは自分のメジャー以外も積極的にチャレンジできる点です。私の友達には他学部 of 授業を履修したり、ダンスやアイススケートを履修して単位数を調整したり、柔軟にスケジュールを組んでいる人もいました。私は基本全て建築の授業を履修し、1つだけランドスケープアーキテクチャの授業を履修しました。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Introduction to Landscape Arch (LA 101)	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	Landscape Architecture of the レクチャー授業です。世界中の景観建築を例にそのコンセプトや手法、社会的意義などを包括的に学びます。毎週の小テストが67パーセント、期末テストが33パーセントの評価基準で中間はありません。(嬉しい)		
科目名②	Interior Design for Architects (ARCH 401)	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	教授の研究コースでこの教授はインテリアについてでした。初めの数週間は人間の五感と空間についての調査やレクチャーを行い、後半は割り当てられたペルソナ(e.g. 色覚異常を持つ服飾デザイナー)に与えられた存在する敷地内のインテリア空間だけをデザインします。僕は例に挙げたデザイナーだったためブティックのデザインでした。		
科目名③	Modern and Contemporary Global Architecture (ARCH 417)	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	院生も一緒に受講するレクチャー授業です。建築史に近く歴史上どんな建築運動があったのか、有名建築家の哲学は何か、などについて実例をもとに解説されます。積極的な発言や深い考察が求められる授業で、テストでは50パーセントが最低一ページ以上のエッセイ問題が2題、中間期末でそれぞれ出題されます。残りの50パーセントは選択肢の問題です。加えて定期的な課題と最終レポート課題が5ページ以上あるため比重はかなり重い授業になっています。		
科目名④	Architecture Design and Urbanism (ARCH 371)	単位数 (現地単位数)	6
科目概要	いわゆる設計のスタジオ授業です。ほぼ全員これを受講しており多くの生徒が6～8のスタジオに割り当てられその担当教員のエスキスを受け最終公表まで学びます。最終成果物は「シカゴのKimball Station前の敷地に作る図書館(貸し出すものなんでもいい)」でしたが日本のスタジオ授業と大きく違うのはそのプロセスが細かく分けられていることです。初めの1.5週はスケッチモデル、次は平面図、そして断面図、アニメーション、のように細かく細分化されその都度評価が積み上がっていきます。また、中間期末で各スタジオにゲストクリティックがいらっしや、全員プレゼンが義務付けられています。頑張りましょう。		
科目名⑤		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

UIUCは世界的に見ても国際性が高い評価を受けています。つまりどの人種でも必ずサークルなどが存在し集まりがあると思って大丈夫です。(JSA Japanese Students Associationなど)さらにパーティ文化でも有名な学校なのでイベントことは派手に楽しむことができます。セメスターが始まった直後の期間やハロウィン期間は必ずイベントもありますし、frat partyもたくさんあります。自分のペースでぜひ楽しんでください。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

留学前から英語を話すことはできたので語学プログラムではなく交換留学を選びました。この留学を通してアメリカの建築教育を受けるとともにキャンパスタウンで生活することで異文化に飛び込む体験をしようと思いました。留学が終わってみて、概ねそれは達成できたように感じています。準備で苦労した点は前例がない点でした。先輩と同じ大学に行った人がいなかったため手続きなどが複雑な際非常に不安だったのを記憶しています。学業だけでなくパーティの参加、Thanksgivingのイベント、ルームメイトの実家へのホームステイ、シカゴ、ニューヨーク、ラスベガス、ロサンゼルスへの旅行、クリスマスパーティなど様々な経験ができました。お休みはちよくちよくあるのでぜひいろんな旅行を企画してみてください。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

推薦書二通が必要なので教授と早めに話をつけておきましょう。書いてくれる方もいますが自分で推薦書のたたきを作るのが一般的なので早めに作りネイティブチェックまで済ませておきましょう。

ビザ系は難しくはありませんがちよこちよこお金がかかるので注意です。大使館まで行けばあとはスイスイ行けます。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？交通手段や所要時間を教えてください。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

協定校の寮

出願時に依頼しました。これは最速でやりましょう。いい寮はすぐ埋まります。可能ならISR,Bousfield,Snyderあたりに住むのを勧めますが運もあるので頑張りましょう。

バス

キャンパス内を走っているバスサービスがあります。無料で乗り放題、どこへでも連れて行ってくれます。

キャンパス内で全て完結してるので全部近いです。私は寮から建築学科の建物まで徒歩5分ほどで行けました。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)		
往復航空券代(往復)	¥600,000	30万×2
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥150,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥60,000	
計	¥810,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥130,000	
食費/月	¥100,000	
その他/月	¥30,000	
計	¥260,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥60,000	
計	¥60,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

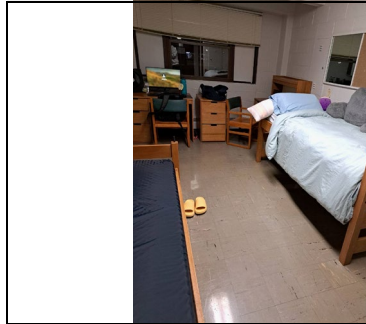
大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

UIUCのMain Quadです。広くて気持ちがいいのと近くのILLINI UNIONではイベントごとにも多くあるし建物も素敵です。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

僕の部屋です。ルームメイトと二人で暮らしていました。

その他、任意の写真



説明文

キャンパス内にあるJapan Houseという日本庭園です。とても綺麗です。

その他、任意の写真



説明文

大学内にMemorial Stadiumという大きなスタジアムがありアメフトの試合が見れます。セメスターが始まるところに集まって行事をします。花火まで上がり盛り上がります。UIUCはスポーツも強いので他校とのアメフトゲームの日はバスが止まり警察まで動員します。実況がうるさいです。